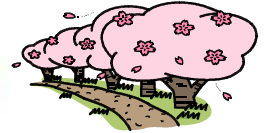


東明

令和5年4月28日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長 鳥井 雅則
第1号

令和5年度 潟西中学校との統合により 全校生徒289名で新たなスタート！



本校は昨年、記念すべき50周年行事を無事執り行い、5月1日の開校記念日で満52歳を迎えることとなりました。今年度は潟西中学校との統合、美里小からの新入生も新たに加わり、全校生徒289名、職員40名でスタートをきりました。一歩ずつ着実に歩みを進め、ふるさと男鹿に貢献し、地域に愛される学校を目指して、職員一同新たな気持ちで力を尽くしてまいりたいと思います。どうかよろしくお願いたします。

今年度の校訓・教育目標は、昨年同様に、「英志つらぬけ ～和して、問い、答え、考え、創造しよう ゆめはばたかせ～」です。この「英志つらぬけ」及び副題については校歌にも歌われている言葉で、生徒にもなじみ深い言葉でもあります。また、本校では、3つの柱となる「学・挑・結」の志を掲げています。「見通しをもって自ら学ぶ生徒」「自信をもって笑顔で挑戦する生徒」「仲間や地域と絆を結ぶ生徒」です。「学・挑・結」を合い言葉に、一人一人の生徒が、英志をつらぬき、教育目標を達成することができるよう、家庭・地域・学校の三者が連携・協働して、力を合わせて子どもに寄り添って教育活動に取り組んでまいりたいと思います。教育目標実現に向けて、ご理解とご協力を願いたします。何かありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

【校訓・教育目標】

【三つの志と目指す生徒像】

英志つらぬけ
～和して、問い、答え、考え、創造しよう
ゆめはばたかせ～



- 学** 見通しをもって自ら学ぶ生徒
- 挑** 自信をもって笑顔で挑戦する生徒
- 結** 仲間や地域と絆を結ぶ生徒

新型コロナウイルス感染防止について

お便りでもお知らせしたように、4月1日以降、コロナ禍の対応を変更しながらの学校生活がスタートしました。原則、マスク着用は自主判断にはなりますが、3年間続いたマスク着用の名残が、現在約9割の生徒がマスクを着用して学校生活を送っているのが現状です。5月8日以降は2類から5類相当になることを境に、対応に変更があればお知らせする予定です。本県も陽性者が微増状態が続いていますので、各自の判断で少なからず感染対策は願いたします。なお、感染状況にもよりますが、授業参観やPTA総会、運動会、東中祭、合唱コンクールなどの学校行事は、参加制限しないで案内する予定です。つまりコロナ禍以前の状況に戻すことを目標としています。どうかご家族でお子さんの活躍を楽しんでいただけたらうれしいです。

なお、明日から始まる市郡春季大会では原則入場に制限はありませんが、会場の面積等の関係で、制限がある競技もありますので、各競技の指示に従っていただきますようお願いいたします。生徒の安全・安心、健康が第一優先です。



4年ぶり開催のPTA総会・体文総会

年度始めのお忙しい中、授業参観、そして4年ぶりの開催となります全体でのPTA・体文総会にご参加、誠にありがとうございました。



本校のPTA活動は、昨年度は様々な理由から、一時的に停滞した状態でありました。そこで、今回の総会は、活動の回復を目指して、会則や細則の見直し、新たな事業計画の立案を目指すなど、重要な変革点となる総会であったと思います。そのため、欠席の方には委任状をお願いするなど、PTA全体の総意によってPTA活動を決議していきたいという意思の表れでもあります。今後も、本校のPTA活動に対して、最大限のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

最後に、総会でも話しましたが、中学生の発達段階は、思春期まっただ中です。手をかけ過ぎると嫌がりませ。「手は離しても、目は離さず」という視点で、お子さんと一緒に成長できれば最高です。ご家庭でもお子さんの話をじっくり聞き、一緒に食卓を囲んだり、考えたりする機会をたくさんつくってあげてください。

